

庄内町教育委員会議事録

平成 30 年第 7 回定例会

平成 30 年 6 月 25 日

庄内町教育委員会

庄内町教育委員会 平成30年第7回定例会 議事録

- 1 会議日程 平成30年6月25日(月)
 開会 午後2時02分
 閉会 午後3時29分
- 2 会議場所 庄内町役場立川庁舎 第二会議室
- 3 内 容
- 1 開 会
- 2 議事録承認
 平成30年第5回定例会議事録
 平成30年第6回定例会議事録
- 3 報 告
- (1) 経過報告
- (2) 平成30年第3回庄内町議会定例会(6月)について
- (3) 平成30年度要・準要保護者の認定について
- (4) 平成30年度計画訪問について
- (5) 平成30年度夢サポート塾について
- (6) 平成30年度庄内町教育研修所教育講演会・課題別研修会・所員交流会実施要項について
- (7) その他
- 4 その他
- (1) 第8回教育委員会定例会の開催について
 日時：平成30年7月25日(水)午後2時00分
 場所：立川庁舎3階 会議室
- (2) その他
- 5 閉 会
- 4 出席者
- | | |
|------|----------------|
| 教育長 | 菅原 正志 |
| 教育委員 | 今野 悦次(第一職務代理者) |
| 教育委員 | 池田 智栄(第二職務代理者) |
| 教育委員 | 梅木 均 |
| 教育委員 | 太田 ひろみ |
- 5 欠席者 なし
- 6 傍聴人 なし
- 7 説明を要した者及び議事録作成のために出席した者
- | | |
|-----------|--------|
| 教育課長 | 佐藤 美枝 |
| 社会教育課長 | 上野 英一 |
| 指導主事 | 五十嵐 敏剛 |
| 主査兼社会教育係長 | 阿部 浩 |
| 主査兼学校教育係長 | 清野 美保 |
| 教育施設係長 | 押切 崇寛 |
| 補佐兼教育総務係長 | 佐藤 貢 |

開 会	(午後2時02分)
教育長	平成30年第7回定例会の開会を宣し、前回、誤りを修正して今回の定例会で再承認することとした平成30年第5回定例会議事録承認及び第6回定例会議事録承認について、意見を求める。第5回議事録について問う。

各委員	(誤字・脱字及び内容等の修正の発言が各委員よりされる。)
教育長	第5回議事録の承認について、議事録の一部を修正して承認することとし、第6回議事録について問う。
各委員	(誤字・脱字及び漢字・平仮名使い並びに内容等の修正の発言が各委員よりされる。)
教育長	第6回議事録について、内容の一部を修正して承認することとし、議事録承認を終了して3報告(1)経過報告【資料1】について、事務局に説明を求める。
佐藤教育課長	(資料に基づき説明する。)
上野社会教育課長	6月22日の図書館協議会整備検討会視察研修の状況について説明する。(新潟県聖籠町立図書館・新発田市立中央図書館)
教育長	説明について質疑を求める。
今野委員	聖籠町の建設事業費はいくらであるのか問う。
上野社会教育課長	建物で12億円でした。ただ、元の中学校のグラウンドに建てたということで非常にスペースがある建物と感じた。ちょっと気になったのが、本町は、教育委員会の中に社会教育課があって、そこに図書館があるが、向こうは、教育委員会に図書館ということで独立した課があるという説明がされた。
教育長	教育委員会に教育課、社会教育課、図書館ということ。
上野社会教育課長	図書館も指定管理になっておらず、町直営でやっていますが、驚いたことは、スタッフが充実している。
教育長	ほとんどが司書の資格を持っている。今、資料を持っているので後でご覧いただきたい旨発言し、議会定例会の報告以外での発言を求める。[質疑の声なく]報告(1)を終了し、報告(2)平成30年第3回庄内町議会定例会(6月)について【資料2】、事務局に説明を求める。
佐藤教育課長	(付議事件名簿資料に基づき説明する。)
上野社会教育課長	(付議事件名簿資料に基づき説明する。)
佐藤教育課長	(資料、一般質問通知書⑤に基づき、質疑の状況について説明する。)
上野社会教育課長	(資料、一般質問通知書⑤に基づき、質疑の状況について説明する。)
教育長	最初に付議事件について、質疑を求める。付議事件及び一般質問も含めて、再質疑を求める。[質疑の声なく]報告(2)を終了し、報告(3)平成30年度要・準要保護者の認定について【資料3】、事務局に説明を求める。
清野主査兼学校教育係長	(資料に基づき説明する。)
教育長	昨年度より若干認定率が下がっていることを述べ、質問・意見を問う。また、昨年度の非認定者は何人であったのか問う。
清野主査兼学校教育係長	小学校が4名、中学校が4名で合計8名である旨回答する。
教育長	今年度の非認定者の増加の感想を述べ、再度、質問・意見を問う。
梅木委員	小学校で80人、中学校で63人の要・準要保護認定者がいる。これを比較するのはどうかと思うが、この義務教育世代の中で、80人、63人が多いのか少ないのかどうか。同じ様な人口規模の町などと比較すればよいのだと思うが、本町は小学校や中学校の教育が充実している中で「こんなにいるのか。」という感想を持った。数字に間違いがないか問う。
清野主査兼学校教育係長	認定割合については、ここ数年大きく動いてはいない。大体この位の数値で推移している。県内の状況を見ても同じ位の数値となっている。本町が特別に多いと

	か、少ないというものではない旨述べる。
教育長	これを見ると最初の頃は、非常に多いなどの感想を持った旨述べる。
今野委員	認定のパーセンテージは下がっている旨発言する。
教育長	自分としては1割が要・準要保護認定者であるとの捉え方をしている。そこから見ると1割を切っているの、少なくなってきていると感じている旨述べる。再度、質問・意見を問う。〔質疑の声なく〕報告(3)を終了し、報告(4)平成30年度計画訪問について【資料4】、事務局に説明を求める。
五十嵐指導主事	(資料に基づき説明する。給食がパン給食になったために、白飯の持参が不要になったこと。水分補給もあり、牛乳を追加していることを併せ説明する。)
教育長	第二幼稚園の計画訪問についての対応の可否を問う。
今野委員	第二幼稚園がパン給食となり、ご飯の持参が不要になるということなのか。
教育長	ご飯の持参は必要ない。委員の皆さんの参観を再度確認し、報告(4)を終了し、報告(5)平成30年度夢サポート塾について【資料5】、事務局に説明を求める。
五十嵐指導主事	(資料に基づき説明する。)今年度も余目中学校と立川中学校の両学区で夢サポート塾を開催する。余目中学校は夏季集中学習会から始まり、夏休みの期間中3日間学習会を余目第二公民館で開催する。その後、9月8日から翌年1月12日までの間で全17回の土曜塾の開催となる。集中学習会と土曜塾は参加する生徒も異なってくるので、この二つは異なる学習会として捉えている。立川中学校は、昨年度まで池田委員が地域コーディネーターを務めていただいていたが、今年度からは太田委員にお願いすることになった。9月から2月まで狩川公民館で開催されるが、受験日のぎりぎりまで学習をさせたいとの学校の意向もあり、立川の方は若干期間が長くなっている。塾の開催に当たっては、学校の協力を得ながら進めていきたい。この塾の大きな目的は、学力向上ではなく、地域の人と関わり合いながら、子ども達が安心して地域で暮らせる、生活できることを学ぶ、学校の先生以外から勉強を教えてもらう等の経験を積むことが、大きな目的となっている。講師の先生方は、地域の方々と大学生等のボランティアと多岐に亘って協力をいただいている。今年度も実施をするので、皆さんからもご理解とご協力をお願いしたい旨述べる。
教育長	例年のとおりの様ですが、余中の夏の期間の講習会が少し少なくなって、その分1月まで入るということで、立中は、池田委員から太田委員へ地域コーディネーターが代わることの御礼とお願いを述べ、質問、意見を求める。
池田委員	学習支援員の先生が現在欠員となっているが、塾との間をととても太いパイプで繋いでいただいていたので、今後についてどのような検討をしているのか、その検討状況をお聞かせ願いたい。
教育長	立川中学校の学習支援員のことについては、今後、早急な対応を図りたい旨述べ、報告(5)を終了し、報告(6)平成30年度庄内町教育研修所教育講演会・課題別研修会・所員交流会実施要項について【資料6】、事務局に説明を求める。
五十嵐指導主事	(資料に基づき説明する。)今年度は、7月27日教育講演会・課題別研修会・所員交流会実施要項として出させていただいている。日程は7月27日金曜日の開催で、午前中は、先生方がそれぞれの講座で自主研修を行うということで、今年は新しく料理の講座であるとか、例年と違った講座も設定されている。午後からは教育講演会ということで、著書やテレビ出演などで多岐に亘り活躍しているセゾンファクトリー顧問の齋藤峰彰さんを講師として、「ブランドづくりは人づくり」という演題で、事業経営を進めていく中での人づくりや経営理念などのお話をいただけるということで了解をいただいている。開会行事が午後2時からで、

	皆さんにも都合のつく限り響ホールにお出でいただいて、講演会に参加していただければと思っている。講演会後の所員交流会については、校長会や事務局会で協議した上で今年度は中止することに決定している。当日は、商品の展示やパンフレット等の配布も予定されている旨併せて説明する。
教育長	是非、参加をお願いしたい旨述べ、報告(6)を終了し、報告(7)その他についての説明を求める。
佐藤課長補佐兼教育総務係長	本日、資料配布した庄内地区教育委員会協議会の平成30年度総会並びに教育委員会研修会等役割分担(案)について、意見をいただきたい旨発言する。
教育長	主催者となる訳だから、委員の集合時間を何時とするのか。
佐藤課長補佐兼教育総務係長	開催受付が13時からとなっているので受付開始の15分前の12時45分で現地集合いただきたい旨発言する。
教育長	委員の皆さんは、会に間に合うよう来ればよいのか。
佐藤教育課長	当日のシナリオ等も事務局で準備いただけるという事であるので、事前にお渡しすることができれば、早い時間の集合でなくても大丈夫と考えている旨述べる。
佐藤課長補佐兼教育総務係長	明日、事務局の鶴岡市教育委員会との打合せがあるので、なるべく早くシナリオ等の提供をいただいて、委員の皆さまにお渡ししたい旨発言する。
各委員	役割分担の詳細部分について質問、意見の発言がされる。
教育長	明日、鶴岡市との打合せがあるということなので、詳細が分ってから皆さんに報告、連絡したい旨述べ、他の発言を求め、再度参加をお願いし、併せて当日響ホール小ホールでの開催を確認する。
佐藤教育課長	7月13日金曜日の東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会について、本日配布資料に基づき説明する。
教育長	報告(7)その他、連絡等を終了し、4(1)その他について、次回第8回の教育委員会定例会の開催についてを7月25日水曜日の午後2時と予定し、日程調整を確認する。(2)その他について発言を求める。
上野社会教育課長	7月14日土曜日14時から余目第三公民館ホールにおいて、庄内町立図書館の未来を考えるとということで、図書館フォーラムを開催する。これには内閣府地域活性化伝道師・町図書館アドバイザーである満尾哲弘氏を迎え、この地域の図書館整備・運営を考えていくためにどうするか、との情報提供をいただきながら、参加者との意見交換を行うものであり、教育委員の皆さんからも参加をお願いしたい旨述べる。
教育長	再度、発言を求める。
今野委員	大阪の地震災害での痛ましい事故状況を受けて、本町ではどのような対応となっているのか。
押切教育施設係長	事故の翌日に教育関連施設の巡回調査を実施し、県と町危機管理へ報告したところであるが、建築基準法で定める基準の塀の高さが2.2メートルを超えるブロック塀はなかったが、余目第二小学校と余目第三小学校で2.2メートル以下のブロック塀が確認された。しかし、通学路におけるブロック塀の確認、調査となると膨大であり、その確認調査となれば、かなりの人と時間を要するものと考えている。しかし、今後の国の動向をうかがえば何れやらざるを得ないものと考えている。
教育長	平成30年第7回教育委員会定例会の終了を宣する。
閉会	(午後3時29分)